

Forest 通信 7 H30

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.353

巻頭
Photo

高尾山の生きものたち ルリボシカミキリ (カミキリムシ科)

枯れ木の上、さわやかなスカイブルーの昆虫が歩き回っていた。その鮮やかさと美しさに目を奪われた。ルリボシカミキリに初めて出会ったときのことだ。

ルリボシカミキリは、広葉樹の森に生息し、体長は2、3cm位で、触角が長く、緑がかった水色に3対の黒斑が並ぶ。成虫は、6月頃から出現し、産卵のためにブナやクルミの仲間の倒木などに飞来し、卵を木に産み付け、1~2ヶ月位で死んでしまう。孵化した幼虫は、3年間、枯れ木の中で過ごし、鋭いアゴで木の内部を食べる。枯れた木の養分が幼虫の身体に移っているわけだ。高尾山のような古木もある多様な森で、このような命の循環が行われている。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



富 ちゃん 皿 ちゃん

NO.34



マタタビ (マタタビ科)

6月になって林道を歩いていると、山の斜面のあちこちで白い葉が急に目立つようになってきます。葉の下を覗いて見ると、梅の花に似た白い花が下向きに咲いています。嗅いでみるとさわやかなにおいがしてきます。近くにいる昆虫はにおいて、遠くの昆虫には白い色で注目されようとしているのでしょう。

葉の表面側に空気ははいつているために白くなっています。ちなみに白い葉の表面を爪で削ると緑色が出てきます。葉の中に空気が入っていることを確かめるために、水の中に葉を入れて指で押ししてみました。葉の縁に空気の粒が沢山出てきました。やはり、葉の中に入っていたのは空気でした。花が咲き終わって実になってくるといつしか葉もまた緑色になってきます。

ちなみに、マタタビの実はなぜか、虫こぶになる方が正常な実よりも多く、この虫こぶを干して粉にしたものが生薬で木天蓼(もくてんりょう)といます。薬用としては神経痛、腰痛などがあります。

虫こぶは夏の終わりになるとマタタビのつるの下に落ちています。この青い実をそのまま焼酎に漬けるとマタタビ酒ができます。少し薬っぽいにおいがします。(富)



公募イベント

間伐体験と森林散策

山の日記念

5月26日に一般公募イベント「間伐体験と森林散策」を実施しました。当センターでは「山の日記念」として毎年イベントを企画していますが、今年は間伐体験と森林散策で一日を満喫していただくという趣向です。

当日は天候にも恵まれ、散策や間伐体験には絶好のコンディションとなりました。午前中は森林散策を行いました。森林教室では普段小学生を対象としていますが、今回は一般の方を対象としての森林散策とあってより高度な説明を要するため、当センターで最も経験・知識が豊富な職員がレクチャーを実施しました。既に花々の季節は盛りを過ぎましたが、そこは自然豊かな高尾山、あちらこちらに見所は満載です。出発前には特大のアオダイショウが現れて見送ってくれました。

午後からは待望の間伐体験を実施しました。まずは間伐について、職員から技術的な講義と危険な作業についての注意等を行ってから現地へと移動しました。実際には一人が1~2本程度を切るのですが、足場の不安定な傾斜地での作業は想像以上に困難だったらしく、閉会式では皆さん疲労の色を隠せない様子でしたが、満足そうな笑顔と一緒に無事終了できました。(機)

森林散策中、熱心にレクチャーを受ける参加者たち



傾斜地での間伐体験。足下に気をつけて慎重に作業

森林教室

小平市立 第二小学校



6月1日、小平市立第二小学校若草学級の1~6年生33名がやってきました。今年は、昨年と違う事を体験したいとの学校の希望で、日影の自然学習体験施設(炭焼き小屋)での森林教室です。

駐車場にバスを止め、炭焼き小屋までの2kmを日差しの強い中20分歩いての移動、上級生が下級生を見守りながらみんな無事に着きました。

最初は炭焼きの課程の一部を体験してもらうことにしました。伏窯の焚き口に火を入れ、団扇でパタパタ。みんな必死で扇いだ結果、煙突から煙がもくもく出てくるようになり炭焼き体験は終了です。

次は花炭です。缶にマツカサなどを入れて針金で縛った後で、ドラム缶の半割で燃えさかる焚火におそるおそる投入し、昼食タイムです。

昼食の後は丸太切り。下級生は手こすりながら切り進むうちに、コツを掴んで上手に切れるようになりました。さすがに上級生はみんな上手(?)に切っていました。全員、丸太の輪切りをお土産にすることが出来ました。

その後、花炭の缶を開け「すごい!」「きれい!」

などの声も聞こえ、炭の焼け具合に大満足、崩れないようにそ~と入れ物に入れて持ち帰りました。

最後のプログラムは森林散策です。1~2年生、3~4年生、5~6年生の3グループに分かれてのスタートです。炭焼き小屋からキャンプ場まで短い時間ですが「きもちい~い♪」「木が大っきい!」など森林に興味津々、笑顔がたくさん見ることができました。

森林教室終了後、「たのしかった」など、口々に手を振りながら帰路に着きました。(皿)



きれいな花炭ができたよ!

森林教室

横浜市立 羽沢小学校



6月4日、横浜市立羽沢小学校5年生84名が森林教室にやってきました。羽沢小学校は、昨年初めて当センターを訪れた学校ですが、森林教室終了時には「大変有意義な体験をさせていただいた。是非、来年もお願いしたい。」との話があり喜んでいたり、翌々日には平成30年度の「森林教室依頼申請書」が届き、大変驚いたことを思い出しました。今回は、その依頼を受けての森林教室開催となりました。

当日は午前中に森林学習と丸太切りを2班に分かれ交互に行い、午後は6班に分かれて全員で森林観察を行いました。一班の人数が13、14名と若干多くなかったため、案内するスタッフは苦労していましたが、生徒達はびっくりするほどの数のオタマジャクシやそのオタマジャクシを狙うヘビを目にして驚いたり、色々な植物の葉のにおいをかいだり、草笛を吹いたりしながら森林観察を楽しんでいました。

午後の森林観察では、前日の高尾登山の疲れからか、体調が優れない等の生徒が現れ、急遽特別班を設け、当センターのフォレストサポートスタッフ

(FSS)による森林観察も行いました。山は歩けないと言っていた生徒達でしたが、案内するフォレストサポートスタッフの話を聞きながら散策するうちに元気になる楽しい時間を過ごしたようです。

閉校式では、「丸太切りは大変だったけど良い香りがした。楽しかった」「色々な植物の葉っぱのにおいや、植物の名前を覚えることができうれしかった」等の感想が述べられ、毎回の事ながら自然に触れることの大切さを感じる一日となりました。

さらに、今回は改めてフォレストサポートスタッフの存在を有り難く感じた一日となりました。

“FSSの皆さんこれからもよろしくお願いします。”
(谷)



いろいろな種類
の木があるん
だなあ

森林教室

八王子市立 みなみ野小学校



6月8日に八王子市立みなみ野小学校5年生95名が森林教室を体験しました。

6月6日に梅雨入り宣言が出され、天気が気がかりでしたが、日頃の行いが良い子どもたちのおかげで晴天に恵まれました。

森林学習では、パワーポイントを使って高尾山の動物や植物の紹介、なぜ間伐が必要なのか、地球温暖化をふせぐためにはなど、森林の働きについて学習しました。職員への質問では、高尾山には何本の木があるのか、何種類の木があるのか、などの難しい質問がありました。

丸太切りでは、厚く切ったり薄く切ったり思い思いの厚さでノコギリを振りまわしました。そして、切り取った輪切りの皮をむき、キレイになったと喜び、ヒノキの香りをかいで良いにおいがすると言っていました。

森林散策では、案内する職員から樹木の成長や特性、落ちている木の実、タカオの名前のついた植物などの説明をしながら、カエルの卵やオタマジャクシに触ったり、サワガニを見つけたり、葉っぱで笛を作ったり、普段経験のできないことを体験し、学習した約2時間の森林散策でした。

閉校式では、各クラスの代表者から体験した感想

として「丸太切りで疲れた。」「植物の名前を知ることが出来た。」「森林の働きがわかった。」など発表され、一日の疲れも見せずに元気いっぱい笑顔を残し、みなみ野小学校へ帰校しました。(田)



草笛練習、音
が出るかな？

あ、サワガニ
がいたよ！



森林教室

東村山市立 化成小学校



6月14日、森林ふれあい館にて東村山市立化成小学校5年生96名を対象に、森林教室を行いました。

午前は、職員作成のプログラム「森林のはたらき」を中心に座学による森林学習を行い、午後は、大平国有林「学習の歩道」を利用した森林散策で森林のはたらきを目にしてもらうとともに、葉の手触りや匂いなどを通じて植物を知ってもらいました。

散策後は、一人一人丸太切りを体験してもらい、切った輪切りをお土産として持ち帰ってもらいました。

野生のいちごにも色々な種類があるよ



終了後、子どもたちから「かぶれる植物やにいいのある植物があることがわかって良かった」、「丸太切りが見た目より大変だったけど楽しかった」などの感想をいただきました。(高)

かんたん、かんたん!



ひゃっ、すごく冷たい!



森林教室

横浜市立 茅ヶ崎東小学校



6月15日、入ったばかりの梅雨空を吹き飛ばすような元気いっぱいの横浜市立茅ヶ崎東小学校4年生141名が、森林ふれあい館にやって来ました。今年初参加の小学校です。

まずは「森林学習・丸太切り体験」班と「森林散策」班の2班に分かれ、森林教室開始です。

森林教室の教材は元々5年生用に作ったものですが、みな飲み込みが早く、講義後の質問タイムでも、講師が頭を悩ますほどに様々な質問が飛び出しました。

一番人気の丸太切り体験では、人数が多いから何枚も切れないかも心配したのですが、ノコギリ使いの上手な子が多く、手早く何枚も切れたようでした。

森林散策では途中小雨に降られましたが、雨の日は晴れの日とはまた違った楽しみ方があるので、雨につられてうっかり出てきたサワガニを見ついたり、霧にかすむ山々に向かってヤッホー!と叫んだりして、とても楽しかったようです。

今回ぎりぎりまでお天気を心配していましたが、みな雨の森林を満喫してくれたようです。気持ち

よいお礼の挨拶を残し、学校に帰って行きました。

また来年も高尾山で会えるといいなと思った職員一同でした。(P)

コレ、クモ? ザトウムシ? というの?



Forest 通信 NO.353

発行:林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター



ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1
TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>